

商品売買取引：記帳方法まとめ②

前提：期首商品 2,000 仕入 8,000 / 売上 8,000 売上原価 6,000 利益 2,000 / 期末商品 4,000 (帳簿棚卸高=実地棚卸高)

記帳方法	仕入時	売上時	前T/B		決算整理	後T/B	
総記法		現金 8,000 商品 8,000	商品 2,000		商品 2,000 商品販売益 2,000 ※販売益=▲2,000(前T/B) +4,000(期末商品)	商品 4,000	商品販売益 2,000
分記法	商品 8,000 現金 8,000	現金 8,000 商品 6,000 商品販売益 2,000	商品 4,000	商品販売益 2,000	不 要	※総記法の決算整理仕訳の導き方として商品 a/c を本来あるべき期末商品帳簿棚卸高 4,000 に修正するアプローチもある。	
売上原価対立法		現金 8,000 売上 8,000 売上原価 6,000 商品 6,000	商品 4,000	売上 8,000	※財政状態、経営成績共に既に明らかだから。	商品 4,000	売上 8,000
3分法	仕入 8,000 現金 8,000	現金 8,000 売上 8,000	繰越商品 2,000	仕入 8,000	仕入 2,000 繰越商品 2,000 繰越商品 4,000 仕入 4,000	繰越商品 4,000	仕入 6,000
				売上 8,000			売上 8,000

商品売買取引：記帳方法まとめ②

前提：期首商品 2,000 仕入 8,000 / 売上 8,000 売上原価 6,000 利益 2,000 / 期末商品 4,000 (帳簿棚卸高 = 実地棚卸高)

記帳方法	仕入時	売上時	前T/B	決算整理	後T/B
総記法					
分記法					
売上原価対立法					
3分法					